

リハビリテーションの内容

回復期リハビリテーション病棟では、一般的なリハビリテーション室での機能訓練だけではありません。

病棟でリハビリスタッフまたは病棟看護師と、日常生活動作練習を行ったり、集団でのレクリエーション、自主的にもリハビリテーションする必要もあります。




病院内のリハビリテーションだけでなく、在宅復帰に向けてスーパーへの外出練習や、ご自宅で外泊する練習も行います。

加えて、リハビリの補助的なものとなりますが、ロボットを用いた練習も実施しています。

一般的なリハビリ室でのリハビリです。

歩く練習、足の装具や自助具を用いた手足の練習、食べる練習、お話する練習を行います。

リハビリの種類

-  1. リハビリ室での一般的なリハビリ
-  2. 病棟での日常生活動作練習
-  3. 病棟スタッフとの病棟練習
-  4. 病棟スタッフとのレクリエーション
-  5. 自主練習
-  6. 外出・外泊練習
-  7. ロボティックリハビリ

リハビリ室のリハビリテーション

理学療法 (PT)



<http://www.irasutoya.com/>

作業療法 (OT)



言語聴覚療法 (ST)



<http://otoba.ame-zaku.com/>



特に回復期リハビリ病棟での特徴となりますが、生活場面でのリハビリが最も重要となります。

リハビリ室で手足が動いたとしても、いざ日常生活で手足を使おうとしても難しいことがあります。

日常生活で不自由な手足が使えるようになるためには、実際の日常生活場面での実地トレーニングが必要です。

特に脳卒中の患者さんでは、物の位置関係や形状が違うだけで出来たことが出来なくなってしまうことがあります。

日常生活は動作の連続性ですので、一連の動作練習を行わなければ動作を習得することは難しいのです。

病棟看護師や介護福祉士とのリハビリテーションです。

習得した動作を日常生活に定着していくためには、何度も反復した練習が必要です。2週間ほどで練習内容を見直し、更なる動作獲得に向けてメニューを変更していきます

また、集団でのリハビリテーションも行っており、楽しくみんなで行うので、特に認知機能に対して効果的です。

生活リハビリ室・病棟での日常生活動作練習



<http://otoba.ame-zaiku.com/>

病棟スタッフとのリハビリ

病棟練習



レクリエーション



リハビリテーションで用いている簡易的なロボットを病棟練習として取り入れています。

看護師との練習や自主練習として活用し、効率よく機能回復を促しています。

上肢用の訓練ロボット、レオゴーJです。画像を見ながら到達点に向かって腕を動かします。ロボットが全て介助したり、動作開始時の最初だけ補助したりと、様々な運動プログラムで練習できます



歩行をアシストする、honda 歩行アシストです腰に機会をつけ、装着や操作が大変簡便です。モータにて股関節の屈伸運動をソフトに補助してくれますので、通常歩行よりも長く楽に歩くことができます

